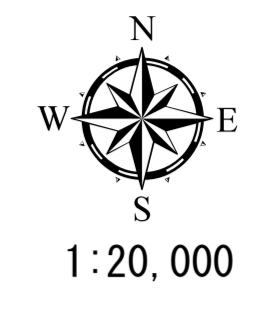
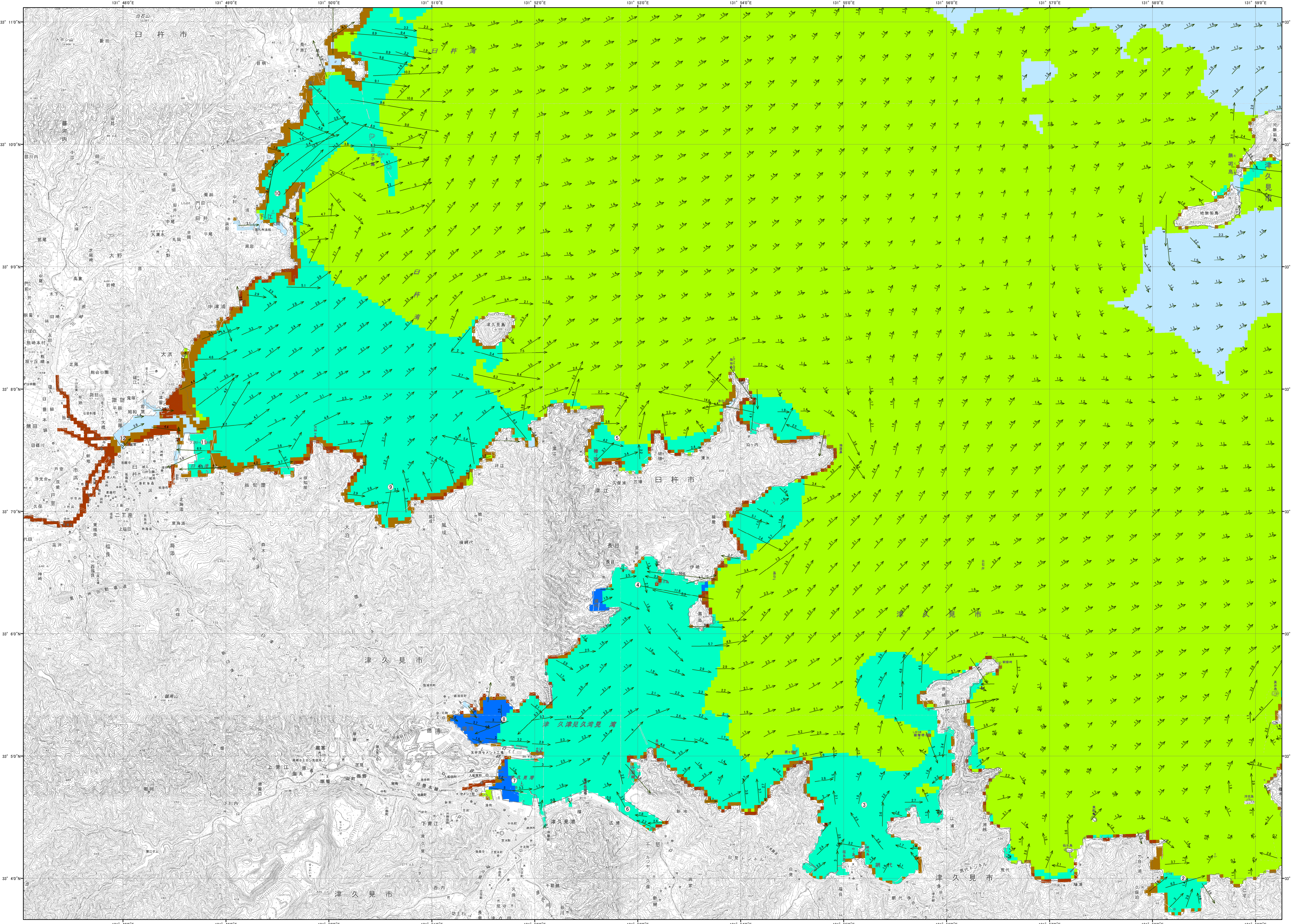


# 津久見港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面（零位）  
 隆起量：平均 -74cm(-84cm ~ -54cm)  
 Zo：1.19m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)



## 凡例

**最大水位低下**

- 5~最大6.2m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

**経時変化図出力点**  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

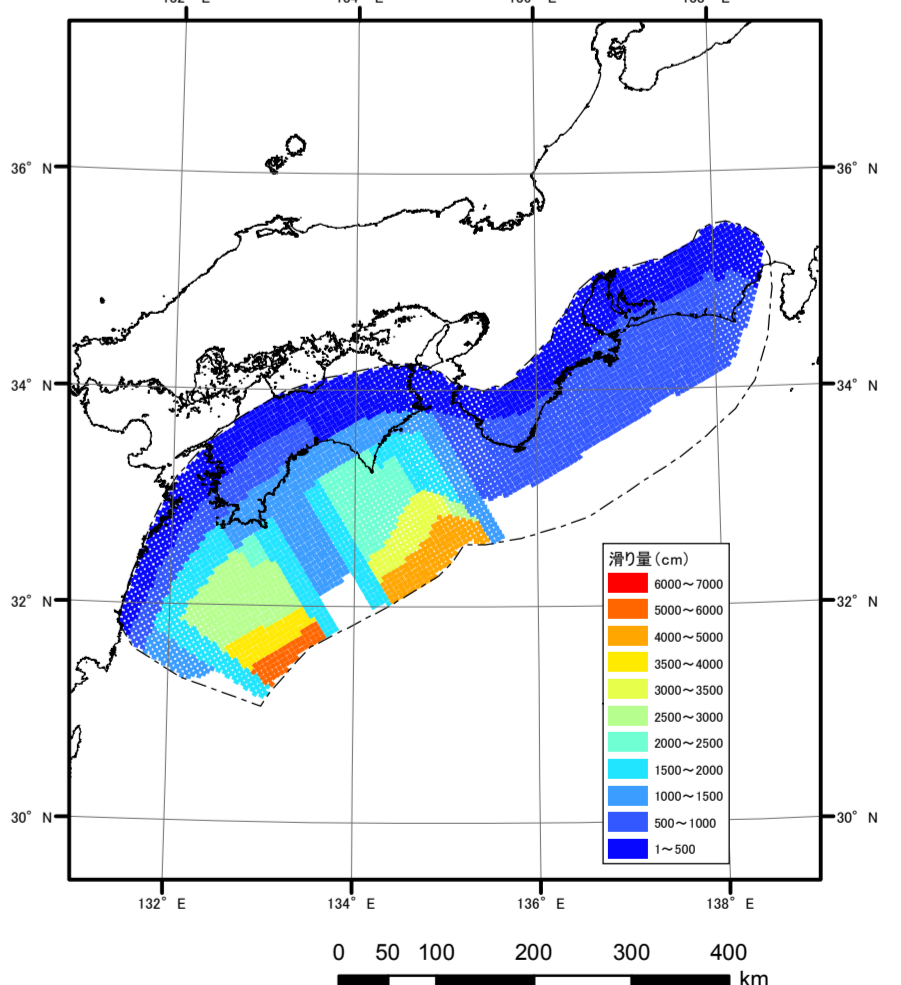
**水位、流向・流速経時変化図**

**引潮時最大流 (knot)**

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

## 断面モデル



ケース①「室戸岬沖と日向灘に『大すべり域+超すべり域』」

断層面積 S(㎠)	140,000
地震モーメント M <sub>0</sub> (N・m)	6.6 × 10 <sup>17</sup>
平均すべり量 D̄(m)	11.2
モーメントマグニチュード M <sub>w</sub>	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

